

● 超音波検査

この検査は痛みなどは伴わない非侵襲的検査です。

体中の臓器を超音波を使って跳ね返った音を画像化しテレビモニターに映して異常所見を見つけます。止まっているものだけでなく、心臓のように動いているものや血液の流れなどをリアルタイムにカラー映像で見ることができます。

当院では、循環器、消化器、体表臓器、血管の領域で日本超音波医学会認定の超音波士、血管診療技師（CVT）機構の認定を取得した技師が在籍し検査を行なっています。

【心臓超音波】

おもに循環器内科、心臓血管外科と連携し心臓の検査を行なっています。機器はPILIPS社製 iE33 を使用し、心臓機能の評価、3D エコーを使用した弁膜疾患、先天性心疾患の評価、また経食道超音波においても3D 画像でデータを提供しています。



【血管超音波】

主に下肢静脈、下肢動脈、頸動脈の検査です。

下肢静脈エコー検査では足の静脈に血栓がないかどうかを観ます。下肢のむくみや下肢皮膚の変色などの原因、さらには肺塞栓の原因となる深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）などの検査です。

下肢動脈エコー検査は動脈硬化などにより足の血管が硬くなり血液が通りにくくなる閉塞性動脈硬化症（ASO）、末梢動脈閉塞症（PAD）などの検査で血液の流れ具合を観たりします。

頸動脈エコーは、首（頸部）の表面にある頭に血液を送る血管の様子を観ます。脳梗塞の原因精査はもちろんですが、糖尿病患者様や高血圧、高脂血症などの患者様の動脈硬化のスクリーニングに有用です。

【腹部超音波検査】

肝臓・腎臓・胆嚢・膵臓・脾臓・消化管などを見ます。それぞれの大きさや腫瘍などの有無などを診る検査です。

人間ドックの項目にも入っており、脂肪肝なども簡単に分かります。

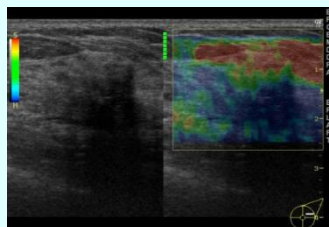


【体表臓器超音波】

体表臓器（表在）超音波とも言い、乳腺、甲状腺、皮膚腫瘍など体の表面に近い部分を超音波で観察します。

乳腺エコーは超音波装置を用いて、乳腺の様子やしこりを映し出します。小さいものでは数 mm の段階から発見できることもあります。

最新の機器では乳腺組織の硬さを画像化（エラストグラフィ）することができ、乳房触診を客観的に映像で確かめることができます。



硬い部分は青色、軟らかい部分は赤色で表示されます。

エラストグラフィ：硬い腫瘍、領域は青く表示されます。

乳腺エコーはマンモグラフィではわかりにくい、若年者の乳腺などに有効です。乳房を圧迫する必要がなく、痛みもありません。

また、超音波ですので X 線のように被曝はありませんので、妊娠中の方でも安心して検査を受けることができます。

さらに詳しく調べる場合、エコーガイド下マンモトームという検査で組織をとり病理検査を行うことも可能です。

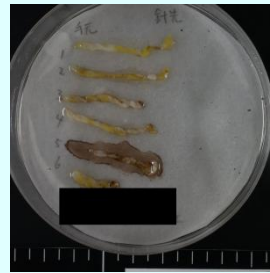


3 mmほどの針で乳腺を刺し、目的の組織を削り取ります。



針を刺しているところ

採れた標本です



当院検査部では、乳がんにかかわる検査はすべて女性技師が行っています。

